

Information6

年に1回接種する事が国の義務になっている

【狂犬病】の予防注射。

日本は1970年以降国内で、犬に噛まれての発症はなく最近だと2020年にフィリピンで犬に噛まれ入国後に発症した例があります。

このように、アジア含め世界のほとんどが毎年狂犬病に感染し

命を落としている事実があります！！

狂犬病を発症してしまうと、**ほぼ100%死亡**します。



洗浄地域…それは狂犬病がない国のこと。

農林水産大臣によると、2013年洗浄国指定地域は日本以外に6つ



- ◇アイスランド
- ◇オーストラリア
- ◇ニュージーランド
- ◇フィジー諸島
- ◇ハワイ
- ◇グアム

厚生労働省 HP 引用

やはり発症のない国は、島国となっています。

日本は、洗浄国で素晴らしいことですが近年全国の狂犬病の接種率が下がっています。

令和2年度→70.2% **平成27年度→71.8%**

どう受け止めますか？

狂犬病…日本での発症はないものの隣国では多数発症。

日々危険にさらされています。

人畜共通感染症と言われ、感染リスクがあるのは人を含む哺乳類（犬・猫・キツネ・コウモリ・アライグマ etc…）



狂犬病の症状は、主に3段階

前駆期

狂躁期

昏睡期

<前駆期>

性格の変化
挙動の異常
食欲不振
発熱・倦怠感

<狂躁期>

ウイルスが中枢神経系に侵入し神経症状を起こす興奮状態で目に付くものを頻繁に噛むなど狂暴化
光や音の突然刺激に対する過剰反応
錯乱・幻覚

<昏睡期>

全身の麻痺状態により嚥下困難や歩行不能
呼吸困難・けいれん
衰弱し**死亡**

噛まれた部位が頭部に近いほど症状の進行が早いです。

潜伏期間は、1週間から長いと1年など…

平均は約1か月とされています。

狂犬病の発症国では、“**子供の病気**”と言われています。

なぜなら病気の知識がないことが大きいそうです。

予防意識の高い日本だからこそ

未来の子供たちが笑顔で安心して過ごせるように

今の大人が責任をもってやるべきことをしましょう！

